

令和 5年度予算見積調書

課室名: 行政・デジタル改革課
 担当名: 官民連携・行政改革担当
 内線: 2129

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p8	既存紙文書の電子化等推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費	
事業期間	令和5年度～ 令和9年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	08 0805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-1
1 事業概要	紙資料の確認のために出勤が必要となるケースがあるため、執務室内で保管している文書を電子化し、職員がどこでもペーパーレスで資料を確認できるようにする。あわせて、既存紙文書の廃棄と、これらを保管していたキャビネット等を処分する。廃棄等で生まれた空間を、集中ブースや打合せスペースなどのクリエイティブスペース等として再生を図る。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 既存紙文書の電子化事業 7,128千円 会計年度任用職員を採用し、執務室内で保管している文書を一括して電子化する。 イ 既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業 14,820千円 執務室内で保管している紙文書の削減に伴い、生まれた空間を集中ブースや打合せスペース等のクリエイティブスペース等に転換する。 (2) 事業計画 令和5年4月～ 本庁対象課による文書見直し作業 既存紙文書の電子化作業 令和6年3月～ 執務空間の再生 (3) 事業効果 ア 既存紙文書の電子化事業 既存紙文書の電子化によって、紙を見るために出勤する必要がなくなり、どこでも働ける環境が整うことにより、育児や介護等の事情がある職員を含め誰もが最大限能力を発揮できる。 イ 既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業 (イ) 執務室の紙文書が縮減されることで、狭隘な執務室にスペースを生み出し有効活用できる環境が整う。 (イ) クリエイティブスペース等を活用し、Web会議や集中作業など場面に応じた職務空間で作業することで職員の生産性が向上する。					
ア	既存紙文書の電子化事業			7,128千円					
イ	既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業			14,820千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円 ＜ <input checked="" type="checkbox"/> 会計年度任用職員7人＞21,645千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	21,948							21,948	21,948
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	既存紙文書の電子化等推進事業		
単位事業名	既存紙文書の電子化事業	予算額	7,128千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	7,128	7,128	スキャナー賃借料
合計	7,128	7,128	

単位事業名	既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業	予算額	14,820千円
-------	-------------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	10,779	10,779	執務空間の再生
役務費	3,409	3,409	キャビネット処分費
委託料	632	632	機密文書廃棄
合計	14,820	14,820	